巻頭特集

いなべ市農業公園 梅まつり

色鮮やか 4000本が春を運ぶ

都市と農村の交流地点として多くの人に親しまれている、いなべ市農業公園。
東海地区最大級の梅林公園では、
4000本以上が咲き誇る梅まつりが開催される。
薄紅や黄など、色の濃淡や大きさがさまざまな、
梅の花が織り成す景観は、柔らかな毛糸玉を敷き詰めたようだ。

寒暖の差など、
さまざまな気象状況によって
開花時期は異なります。
2月中旬以降に、
問い合わせください

いなべ市農業公園
指定管理者
「サンパーク いなべ」事務主任
林 秋代さん

白やピンク、黄色など、さまざまな色の梅が咲き誇る

地域活性化を担う広大な農業公園

広大な敷地を誇る、いなべ市農業公園。北側にあるエコ福祉広場エリアの駐車場に車を停めて周りを見渡すと、大型遊具やパークゴルフ場が見えた。取材に訪れたのは、1月下旬。鈴鹿山脈から吹きおりる強風に来園者は少ないものの、ゴルフを楽しむ人の姿が見えた。

都市と農村の相互理解や、地域に暮らす高齢者の生きがい創出など、地域活性化を目的として平成13年頃にオープン。敷地は南北で2つのエリアに分かれており、敷地面積は56ヘクタールを誇る。エコ福祉広場エリアには、36ホールを備えるパークゴルフ場のほか、梅の木をモチーフにしたコンビネーション遊具や、地元の農産物をふんだんに使った食事が楽しめるレストランなどが整備されている。4月下旬から5月上旬にかけては、東海エリア最大級のぼたん園でぼたんまつりを開催。色鮮やかな大輪が来場者を出迎える。

南側にある梅林公園では、梅園のほか、ブルーベリー園や体験型の農園施設「クラインガルデン」などを整備する。クラインガルデンは、都市と農村の交流をテーマとした貸し農園。多くの人に農業や食に対する理解を深めてもらおうと、ロッジには畑が併設され、四季を通じて自由に野菜づくりが楽しめる。

広大な敷地はスポーツイベント開催地としても活用。毎年5月に開催される国内最高峰の国際自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン」のいなべステージでは、第一駐車場がゴール地点となっている。園内には、飲食ブースや大型ビジョンなどを設置。ゴールの瞬間は大きな盛り上がりを見せるという。

約8万人が来場するいなべ春の風物詩

東海地区最大級とされる梅園では、毎年3月に梅まつりを開催。期間中は県内外から約8万人が来場する。「毎年のようにリピーターさんのほか、近年は台湾など海外からの観光客も増えてきています」と、公園指定管理者である「サンパーク いなべ」の林秋代さんは話す。

3月9日(土)と10日(日)の2日間には、園内のイベント広場で「うまいもん市」が開かれる。いなべ市の商工会が中心となって市内の約10店舗が出店するほか、桑名市や近江八幡市など近隣市町の特産物などが集結。直売施設前で平日限定の猿回しや大道芸も登場するほか、園オリジナルの梅ジュース「うめじゅ」も販売される。「園内で昨年採れた梅と氷砂糖、リンゴ酢だけでつくった体に優しいジュースです。梅まつりの開催中は試飲も行っていますから、ぜひ一度そのおいしさを味わってみてください」と呼びかける。

鈴鹿山脈を背景に絶景を楽しんで

梅園には、白加賀梅や南高梅など約100種類、約4000本が生育。土壌づくりや枝の剪定を担うのが、シルバー人材センターから派遣された地域住民の人々だ。定期的な手入れを怠れば見た目が損なわれるばかりか、害虫発生の恐れもある。「1本1本を維持できているのも、地域のシルバーさんたちのおかげ。昨年には新しくしだれ梅なども植樹しましたし、今年もたくさんの梅が順調に育ってきています」とほほ笑む。

開花時期は年によって異なるが、今年は3月上旬から開花が始まり、下旬にかけて見頃を迎える予定という。「2月の中旬以降には、見頃がわかってきます。満開の梅が見たいという方は、ぜひ直接お電話で問い合わせください」。

おすすめの鑑賞スポットは、園内に設置された見晴らし台。雪をかぶった雄大な鈴鹿山脈を背景に、咲き誇る梅を一望できる。絶景スポットとして紹介されたこともある、いなべ市の梅まつり。カメラを片手に、春を見つけに出かけてみてはいかがだろうか。

梅園の整備を担うのは、シルバー人材センターから派遣された地域住民。1月下旬は、剪定作業にあたっていた。整備された梅の木を見上げると、つぼみから白い花が顔をんぞかせていた

information

いなべ市農業公園 梅まつり

期間
3月上旬～3月下旬　8時30分～16時
※開花状況により開催期間が変更になる場合あり

会場
いなべ市農業公園 梅林公園(いなべ市藤原町鼎717)

入園料
梅まつり開催時は中学生以上500円、
小学生以下無料

問い合わせ
0594-46-8377

梅ジュース「うめじゅ」は園内で採取した梅を使用。炭酸水で割って飲むと、爽快な口あたりを堪能できる。隠し味に使ったりんご酢がポイントで、毎年買い求めるファンも多い

文／藤原均　写真／サンパーク いなべ提供　デザイン／chica